



戸沢・舟形

金山・最上

ドライブしながら味わう 最上の農村風景

国道13号北（金山町）

新庄市から金山町へ国道13号を進むと上台峠がある。この峠を登り切った先、カーブを抜けるとすぐに一面の田んぼが広がる。どの時期も美しいが、特に田植えや稲刈りの時期は壮観である。さらに、天気良ければ遠くに金山三山を望めるため、探してみしてほしい。

さらに金山町の中心部に向かうと、金山城が築かれていた楯山がある。ここからは、白壁にこげ茶色や黒色の木組みの柱と切妻屋根が特徴の金山住宅の家々が織りなす街並みを一望できる。リフレッシュの運動もかねてぜひ登ってみてほしい。



一面の田んぼと金山三山



楯山から見渡す金山の城下町



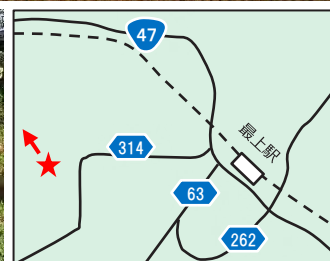
国道47号東（最上町）

盆地である最上郡は霧がかかることが多い。特に宮城県と秋田県に隣接する最上町は、周囲を奥羽山系の山々に囲まれた盆地にあり、辺りを見渡すと雄大な山々を眺めることができる。白い霧と広大な田畑や山々を写真に取めると、農村の静けさを感じられる作品となる。

さらに国道47号を東に進むと、JR 堺田駅に「堺田分水嶺」がある。水の分かれる様が見えるのは全国的にも珍しく、分岐したそれぞれの川の水がはるか下流で太平洋と日本海に注ぐと思うと、感慨深い。



霧がかかる神室連峰



山形県北東部に位置する最上地域は、最上川の中流部にあたり、奥羽山脈や出羽山地などの山々に囲まれた自然豊かなエリアである。そんな最上地域には、南北に国道 13 号、東西に国道 47 号が走っており、国道の周りには田園風景が広がっている。車を少し走らせるだけで美しい風景に出会えることも、最上地域の魅力のひとつだ。

普段は見逃していた風景の中にも、思わず写真を撮りたいと思う場所が沢山あるかもしれない。

今回は、国道沿いで見つけた農村の風景を紹介していく。



モガミル
最上地域のイメージキャラクター。「最上観る」がモガミルに。

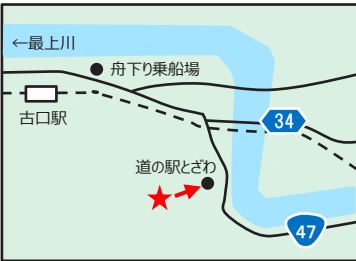


最上川と田畑のコラボレーション

国道47号西（戸沢村）

新庄市から国道 47 号を庄内方面に進むと左手に見える「道の駅とざわ」。韓国様式の一風変わった建物である。傾斜地を利用した造りで、丘上へ進むと非常に見晴らしが良く、雄大な最上川と奥に広がる田畑とのコラボレーションが美しい。

さらに国道 47 号を庄内方面へ少し進むと、最上川舟下り乗船場がある。舟からは、山々や川を近くで見ることができるため、自然の迫力を感じられる。ぜひ様々な角度から、四季折々の表情を見せる最上川流域の景色を楽しんでほしい。



国道13号南（舟形町）

猿羽根山トンネルを北に抜けると舟形町歴史民俗資料館へと続く道があり、さらに登っていくと猿羽根山地蔵堂へと辿り着く。そこでお参りするのも良いが、お参りするだけではもったいない。ぜひそこから見える農村風景も観てもらいたい。山形の農業には欠かせない「母なる川」最上川と田畑を眺めることができる。

また、眼下には広葉樹林が広がっており、もちろんどの季節でも風景を楽しめるが、鮮やかな紅葉越しに見る農村の風景を特におすすめしたい。



猿羽根山の紅葉から眺める農村風景

